

政治を変えてほしい 切実な願いに 全力でこたえます



日本共産党

この6月、昨年につづいて 住民税大增税がおそってきます

定率減税がこの6月で全部廃止されて、ふたたび増税が家計を直撃します。そのうえ、国保や介護保険料に連動してお年寄りにも雪だるま式に負担がふえる…。

国政では、自民・公明、多くの地方政治では民主も含めた「オール与党」が、増税・負担増をすすめる勢力になっています。

日本共産党の 5つのプラン

日本共産党は、「福祉と暮らしを守る」という町の本来の仕事をはたさせます。

1 介護・医療・福祉のいっそうの充実

介護保険料・利用料減免の継続拡充。介護用具のとりあげをやめ、希望者への貸出の継続。自立支援法の抜本的見直しを求め、障がい者福祉の充実。

2 中学校卒業までの医療費無料化の実現

知多半島では、大府市が入・通院とも中卒まで無料に。東浦町・阿久比町・東海市では入院のみ中学卒業まで無料。衣浦湾を越えると、碧南市は小卒まで通院無料、中卒まで入院無料。吉良町は小卒まで通院・入院とも無料、幡豆町は小3まで通院・入院とも無料など広がっています。

3 少人数学級の実現で、ゆきとどいた教育

4 町内巡回バスの早期実施

お年寄りが元気にでかけることができ、町の活性化にも大切です。

5 衣浦港3号地産廃処分場建設は反対

きれいな海を守るためにも、産廃による埋立中止に全力を上げます。



国政でも町政でも、悪政にきっぱり対決してこそ、 住民の暮らしを守れます

庶民大增税・負担増が住民におしつけられているとき、日本共産党は悪政に真っ向から立ち向かい、介護や国保、福祉、税金の負担軽減にがんばっています。

政府は、地方への支出を減らすために、「三位一体改革」と称して、教育や福祉の補助負担金を削減し、地方財政を困難にしています。これを自民党・公明党

も民主党も競い合ってすすめています。民主党は政府以上に「補助金は全廃しろ」とまで言っています。

国政でも町政でも、「たしかな野党」としてがんばる日本共産党を大きくしてください。必ず期待にこたえます。



新たけとよ

<2007年4月号外>

日本共産党の見解を紹介します。

<発行>日本共産党武豊町委員会 連絡先：Tel 72-2400

